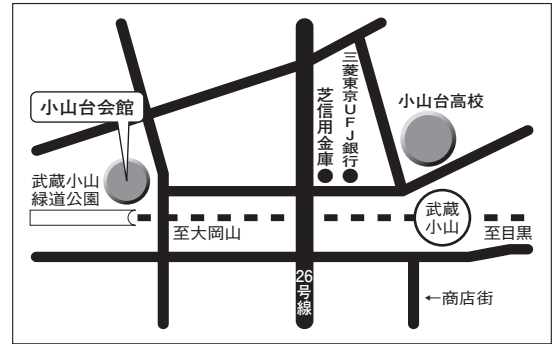


第33号

2009年9月30日 発行

発行所 財団法人小山台
〒142-0062 東京都品川区小山4-11-12
TEL 03(5721)6171 FAX 03(5721)6173
発行人 理事長 大澤佳雄
編集人 常勤理事 杉山 元

財団法人小山台 会報



駅が地下になり、急行も停車します。

台湾環球技術学院との 相互交流始まる

財団小山台と台湾環球技術学院との交流は今年度で4回目の派遣となるが、懸案であった同校から来日しての相互交流第1回目がようやく実現した。

20年10月31日に同校の日本語教員の武藤泰子先生と呉俊賢先生の引率で15名の学生が来日し11月6日までの1週間代々木のオリンピックセンターに滞在し、小山台側の学生との交流を行った。

来日の環球学生はほとんどが日本は初めてで、事前に武藤先生と日本側で練上げたプログラムに沿って受入を行った。

期間中ちょうど開催されていた早稲田祭や文化服装学院の学園祭見学、北嶋絞製作所の企業見学、渋谷、新宿、明治神宮や東京ディズニーランド訪問に加え、歓迎会やさよならパーティーなど盛沢山のスケジュールをこなして、台湾派遣生を中心とする日本側の学生・生徒との交流の実を上げた。

今年4月に同校の許校長先生が陳主任先生及び武藤先生と財団へ来訪され、相互交流実現の謝意表明があった。今秋も同校から第2回の日本研修団の派遣が計画されており、同校学生の間で参加の期待が高まっているとのことであった。

(事務局長 松本 記)



サヨナラパーティーで仮装して

感謝

早稲田大学2年 太田 英子

今回から、パートナーの何人かが留学生!という初の試みがありました。私のパートナーもそのうちの一人で、インドネシアからの留学生のAngelでした。台湾に行く前の彼女とのメールは基本的に英語でした。メールを打つときは電子辞書片手に必死でした。そんな状態だったので会話なんて出来ないと考えていました。しかし、いざAngelと空港で出会い話出すと、辞書を手にすることもなく全て英語で会話をしていました。ボキャブラリーが少なく、私の話す英語はとても簡単な文ばかりでしたが、会話がどんどん進んでいくことが楽しくてしょうがありませんでした。ときどき発音のせいでお互い理解できないときがありましたが、そんなときはスペルを言ったり、書いたりして時間をかけて話していきました。また、私は大学で中国語を、Angelは高校時代に日本語を勉強していたのでお互いの知識を最大限に利用して三ヶ国語で話したりもしていました。数カ国の言葉や文化が知れたのもAngelが中国語、英語、インドネシア語、日本語を理解できる留学生だからこそこの交流だと思いました。家族のことや将来のことなど、会話が英語でも深い会話が出来たこともとても嬉しかったです。またAngelはとても元気な女の子で、どんなときも私の手を引いて一番良い環境に連れていってくれたり、私が少しでも不安な顔をしていると『大丈夫!!ガンバル!!』などと声をかけてくれました。

Angelの笑顔には何度も励まされました。本当にパートナーがAngelで良かった!とずっと思っていました。帰りの空港までのバスの中で、お互い泣かないで笑顔でいようと話していました。しかし、空港での別れの際にはお互い「Smile! Smile!」と言いながら泣いてました。次に会うのは、日本か台湾かインドネシアか場所はどこか今はわかりませんが、私たちはずっと友達だと約束しました。

そしてディスカッションで、私たちの「台湾人の特徴はなんですか?」という質問に「台湾人は初めて会った人にも親切に出来る」という答えには驚きました。このことは今回の派遣を通して実際に感じたことでした。パートナーを含めた今回のプログラムに参加してくれた応用外語科、観光学科の学生、過去のプログラムに参加したことのある学生、環球技術学院のすべての皆様が本当に本当に親切でした。こんなに親切にされたことは今までなく、とても貴重な体験をさせて頂きました。特にパートナーのいない学生が今回のプログラムの運営に力を注いでくれた上に、私たち日本人全員に気を配り、もてなしてくれました。そのおかげでパートナーがいないメンバーともとても仲良くなれて、嬉しかったです。またディスカッションで台湾の人々は「日本人は優しい。」と言ってくれました。しかし、日本人に比べて台湾人の優しさは無償の優しさだと思いました。私たちを喜ばせるためだけに精一杯行動してくれたり、日本語を勉強してしてくれました。この優しさは本当に人の心を揺れ動かしました。

台湾に行って、今まで思っていた海外での交流への魅力が百倍ぐらいに膨らみました。それも台湾で過ごした8日間で心を潤し、夢の中へ導いてくれたからだと思います。そして、8日間ですが築いた友情はこれからも大切にしていきたいです。学んだこと、感じたこと、触れたこと、すべてが私にとっても大きな影響を与えて頂いたと思います。また、私たちが台湾に行ったことによって台湾メンバーに少しでも影響を与えられていたら嬉しく思います。従い、次に再会するときには、ぜひお互い成長した姿で会えることを本当に楽しみにしています。

(第三回台湾派遣報告書より抜粋)

アナタが裁判員になったら...

弁護士 浜田 薫



21年度の第1回公開文化講座は、おりからスタートをきった裁判員制度について、もと財団常任理事浜田脩氏の令嬢で弁護士の浜田薫氏にお願いして、概要を説明していただきました。

1. 対象事件：刑事事件で死刑又は無期懲役・禁固にあたる重大事件、すなわち殺人罪、強盗致死傷罪、危険運転致死罪等。
2. 合議体の構成：通常は裁判官3名+裁判員6名+補充裁判員数名
3. 裁判員の資格：衆議院議員の選挙権を有していること、ただし、判断能力に問題があつて成年後見人等を付けられていたり、心身に障害のある人等は欠格事由となる。また、一部の公務員、弁護士、警察官等禁止事由のある人及び対象事件に関係のある人は不適格者とされている。
4. 辞退できるケース：70歳以上の人、生徒・学生、重い病気や傷害のある人、同居家族の介護者、事業において重要な用務がある場合、父母の葬儀、配偶者、親族、同居人の通院、入退院に付き添ったり、出産に立ち会う必要がある場合等。あるいは住居が遠隔地で裁判所に出頭することが困難であるなどやむをえない理由で裁判員の職務を行うことが困難な人。
5. 裁判員の選任方法：前年12月候補者名簿作成、通知書、調査表を送る。6週間前に呼び出し状

と質問表が送られて来る。

6. 裁判のやり方：期間は1日から長くても5日、7割は3日で終わる。
7. 裁判員の権利と義務、権利：審理において尋問や質問ができる。日当が出る。義務：出廷義務、意見を述べる義務、守秘義務。(裁判員が評議の秘密、職務上知り得た秘密を漏らすと6か月以下の懲役、50万円以下の罰金を科せられる。裁判後も生涯同じ)
8. 裁判員制度の意義：国民の司法への理解と信頼を深める、裁判に市民感覚を反映させる、捜査・裁判手続きの透明化・公正化などにより現在の刑事裁判の持つ問題を改善できるのではないかと。
9. 指摘されている問題について：裁判員は単なる

お飾りにならないか、本当に市民感覚が反映されるのか、あるいは量刑判断まで行うことによる裁判員の精神的負担をどうみるか、また、複雑な裁判による誤判の危険性などの問題も含め懸念されているところである。

これらのお話を通じてこの新しい裁判員制度が今後どうなっていくのか考えさせられる、内容の濃いまた大変有意義な講座でした。

参考 表題と同名の本が浜田氏の監修で扶桑社より発行されています。

追記 去る8月3日東京地裁において全国初の裁判員裁判が開かれました。殺人事件としては比較的問題点の少ない事件だとは言われていましたが、裁判員の方たちは懸命に務めを果し、判決も下りて重荷を下ろしたようでした。

21年度公開文化講座日程

回	日程	講師	演題	予定人員
①	5月16日(土)	弁護士 浜田 薫氏	「あなたが裁判員になったら…」 —裁判員制度にどう向き合うか—	45
②	7月4日(土)	ヨーガ指導者 清水多江子氏	「癒しのヨーガ」 —心と身体の調和—	80
③	9月6日(日)	アイエスデンタルクリニック 歯科医師 石田 智子氏	「一生使える美しい歯でありたい！」 —かみ合わせ美容法で益々健康な毎日を—	90
④	9月26日(土)	NPO かものはしプロジェクト 村田早耶香氏	「カンボジアの子供たちの笑顔のために」 —27歳女性が社会起業で児童買春問題に挑む—	80
⑤	10月17日(土)	郷土歴史家 手島 宗太郎氏	歴史散歩「歌舞伎 “神霊矢口渡” の世界」 —今に残る新田義興の怨霊譚—	30
⑥	11月21日(土)	元NHK音楽番組チーフディレクター 大塚 修造氏	レクチャー・コンサート 出演：リコーダー演奏 吉沢 実氏	170
⑦	2月20日(土)	ダイエットアドバイザー 坂本ひろみ氏	「スタミナと食事」 —若さをつくる食事の秘訣—	130

論壇

公益法人改革法と 財団法人小山台

理事長 大澤 佳雄



昨年12月公益法人改革法が施行されましたが、当財団も数年のうちには公益財団に留まるか、一般の財団法人に衣替えするかの岐路に立たされております。

新法は、財政欠陥の是正を図るために小さな政府を目指しており、これまでの何から何まで「親方日の丸」の公益活動を、民の手に委ねることを大きな目的とされていますが、その観点から私たちの活動はまさに公益法人に相応しいものであります。しかしながら一方で当財団の支援活動が小山台高校生中心になっていることから、所管の係官からは「公益性基準を満たさない」との見解が示されております。

近年の低金利政策下、基金の運用収益も激減しており、公益を追求するためにこれまで以上に助成の範囲を広げることは効果の希薄化を招き、大切な基金を無駄遣いするようなことにもなりかねません。さらに、私たちの公益事業の運営はもっぱらボランティアの皆様を支えられており、このようなことになってはまさに皆様の熱意に水を指すことになってしまうと考えております。

本件への対応については、これまで財団を支えてこられた多くの皆様のご意見をもとに慎重にことを運んで参りたいと考えておりますので、是非ともご意見をお寄せいただくとともに、倍旧のご支援を賜りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

21年度 ドイツとの交換交流事業

2009年7月30日～8月19日

ドイツ、ベルリンのカニジウス・コレク校との交換交流はもう往復で17回を数える。

本年はベルリンからリーダーを含めて8名の学生を受け入れた。また、カニジウス校で変わらない情熱を持って日本語の指導にあたっておられる梅津由美子先生が、第2回目から引き続き引率され、小林渚先生とともに7月30日に来日された。

今年のドイツ人学生は例年より若干年齢が若く、日本語の習得も不十分だったようだが、歓迎会では日本語で一生懸命自己紹介する姿も見られた。

今年は滞在3週間のうち、前半に公式行事、後半には受入家庭と過ごす時間を多く取ったファミリーデーを配したプログラム構成であった。

大地沢1泊キャンプはドイツ人学生、受入れ学生、はもちろん、下見、企画、進行はランチ幹事が大いに活躍した。また、今年は国際交流部会の有志(女性5名)が夕食部隊としてカレーとコルスロー作りに参加していただいた。

関西旅行は、今年初の試みとして、移動手段を京都は大型タクシー、奈良は小型バスとしたが、移動時間の短縮、暑さ対策などから良案だったと感じた。また、各寺院、名所旧跡については、ドイツ人学生が来日前にそれぞれの担当を決め、下調べをしたうえで現場で説明をする、という企画で結果は事前学習の成果が表れていた。

その他の企画は昨年を踏襲したものであったが、三十三間堂、清水寺、金閣寺、龍安寺、奈良では燈花会(とうかえ)見学、東大寺、法隆寺もたっぷり時間を取れた。また、厳島神社、広島平和記念資料館、貞子像には千羽鶴を供えた。

評価会はドイツ団だけのものと、双方の学生、家庭、各プログラムのリーダーが参加したものがある。総合評価はおおむね Excellent であったが、京都の見学時間、広島の見学時間がもう少し欲しかったようだ。また、受入家庭からも自分の家に来た学生以外の方たちと一日でもゆっくり交流する場面があったのもよかった、との意見が聞かれた。

さよならパーティーはドイツ団の番町屋敷のパロディ版劇(日本語で!)や滞在中の写真スライド



清水寺



小山台デー

ショーなどで笑いの絶えない、和やかなパーティーになり、名残もつかなかったが8時半ころ解散となった。ファミリーデーは、それぞれのご家庭、学生がプランを立てて過ごしたが、恒例のディズニランドにはパートナーを含め全員が参加した。8月19日には3週間はあっという間だったとの思いを胸に、一路ドイツへと帰国の途に就いた。

今回ほとんどの公式行事に参加してみて、いかに事前準備が大切かつ大変であるか、を実感した。また、突発事項にも対応できる柔軟性も必要であった。なにはともあれ、私自身は大変貴重な経験をさせて頂き、多に楽しんだ夏であった。

(国際交流部会長 佐々木千晶 記)

平成21年度 国際交流事業参加者

英国語学研修派遣団 (26名)

大内 えりか(女)	小山台高校全1年
小野原 萌 恵(女)	小山台高校全1年
金山 智 香(女)	小山台高校全1年
佐藤 一 輝(男)	小山台高校全1年
岩崎 一 暉(男)	小山台高校全1年
土屋 ゆずか(女)	小山台高校全1年
佐久間 由 佳(女)	小山台高校全1年
中村 桃 子(女)	小山台高校全1年
薄葉 未 波(女)	小山台高校全1年
長谷川 翔 大(男)	小山台高校全1年
岸野 綾 菜(女)	小山台高校全1年
山川 真由子(女)	小山台高校全1年
鶴岡 芽 依(女)	小山台高校全1年

◎印リーダー ◎印サブリーダー

中西 麻 美(女)	小山台高校全1年
笹生 健 太(男)	小山台高校全2年
齋藤 里 沙(女)	小山台高校全2年
高安 京 子(女)	小山台高校全3年
◎宮内 萌(女)	武蔵野美術大2年
松崎 あらん(女)	成蹊大2年
◎樋口 彩 織(女)	早稲田大2年
今村 怜(女)	実践女子大2年
野村 桃 子(女)	津田塾大2年
福本 真 己(女)	学習院大2年
町田 愛 奈(女)	明治学院大2年
西川 那王史(男)	立教大3年
◎藤田 万 里(女)	横浜国立大2年

英国ブリッドポート交換留学派遣団 (7名)

甲斐 春 菜(女)	小山台高校全1年
森近 舞(女)	小山台高校全1年
山森 さつき(女)	小山台高校全1年
小松 莊 子(女)	上智大1年

◎印リーダー ◎印サブリーダー

◎根岸 佑 太(男)	国土館大2年
末続 麻 衣(女)	東京家政短大1年
◎荒巻 芽 生(女)	上智大2年

英国ミドルズブロウ交換留学派遣団 (6名)

小俣 智 美(女)	小山台高校全1年
西牧 琴 音(女)	小山台高校全1年
中村 はるま(男)	大田桜台高校1年

◎印リーダー ◎印サブリーダー

白井 萌 衣(女)	成城大3年
◎大嶺 俊 平(男)	横浜国立大3年
◎樋口 舞(女)	帝京大3年

ドイツ交換留学受入学生・受入家庭 (8名)

(受入学生)	(受入家庭)	(20年ドイツ派遣)	◎印リーダー
Brandenburg Julia	高木 ゆき(女)	小山台高校全2年	(20年ドイツ派遣)
Schröter David	中村 麻衣子(女)	小山台高校全2年	"
Bach chi	千村 くらら(女)	小山台高校全2年	"
Sugue Merlin	石川 紗 織(女)	日本女子大2年	"
Broll Teresa	中村 あゆみ(女)	学習院女子大2年	"
Gigengack Kevin	鈴木 雅 英(男)	横浜国立大3年	"
Czupajllo Julia	石川 礼以那(女)	大妻女子大4年	"
Berg Maria	◎近藤 亜沙美(女)	学習院大3年	"

21年3月(20年度)学生台湾派遣団 (10名)

◎印リーダー	
◎長谷川 旭(男)	横浜国立大2年
綾部 知 樹(男)	明治大1年
遠藤 美 紗(女)	東洋大1年
大田 英 子(女)	早稲田大1年
西山 佳 那(女)	東京農業大1年
石川 結梨奈(女)	日本女子大2年
加藤 梓(女)	順天堂大2年
川崎 由紀子(女)	東京家政大2年
寺田 真 菜(女)	法政大2年
馬場 香 織(女)	東京農業大2年



ボーンマス



ブリッドポート



ミドルズブロウ

あ い さ つ

定時制副校長 荒川 洋



この4月に定時制副校長として着任しました荒川と申します。財団から多くのご支援いただいております。たいへんありがたく思っています。近年、定時制課程に学ぶ生徒の状況は変化し、勤労青少年は減る傾向にあります。替わって、様々な思い、背景のある生徒が在籍するようになってきました。この状況は本校に限ったものではなく、定時制高校は変わってきております。チャレンジスクールなどの新しいタイプの定時制高校が増える一方で、本校の

ような普通科の夜間定時制高校は減ってきています。その中で、今年44名の生徒が入学し、全校生徒は150名を越えております。それぞれの生徒の背景は様々であり、学校教育に対する価値観もこれまでとは異なり、生徒の期待感も大きいものと思います。生徒達の希望を生かし、自己実現をいかに図るかが課題となります。課題解決の取り組みの一つとして、基礎学力の徹底を図るとともに、新しい教育課程に取り組み、人権教育、定通教育チャレンジ事業を推進することにしました。教育相談体制の充実のために既に財団からご支援をいただいておりますが、本校定時制課程の発展のために改めてご支援よろしく願っています。

「寺子屋小山台」開講中！

毎回大好評の寺子屋小山台の第四期がスタートいたしました。若手・中堅社会人を対象に、月一回、半年間開催しています。各界を代表する講師をお迎えして講義をしていただき、そのあと円卓形式で政治、経済、人間・環境等について議論を深めていきます。年齢・職業・身分を越えて、仲間と切磋琢磨することにより仕事以外にも自分の世界が広がります。来年こそは、あなたも参加しませんか。資料請求等は財団法人小山台にお問い合わせください。

Terakoyamasewa09@yahoooogroups.jp

寺子屋小山台21年度日程

開講期間 2009年8月～2010年2月
月1回(土曜日) 13時30分～17時
(講座予定は下記の通り)

日 程	テ ー マ	講 師
プレ (8/29)	「受講生に望むもの」 「自分が源泉という在り方」	福川 伸次様 鈴木 博様
第一回 (9/12)	「リーダーシップ論」	小島 章伸様
第二回 (10/3)	「国際貢献」	藤田 公郎様
第三回 (11/7)	「米国から見た日本」	高成田 亨様
第四回 (12/5)	「環境論」	福川 伸次様
第五回 (1/9)	「中国から見た日本」	朱 建榮様
第六回 (2/6)	「経済トピックス」	大澤 佳雄様
第七回 (2/27)	「まとめ」	受講生 全員

※テーマ、講師については変更の可能性あり

平成20年度事業報告

わが国の経済は、世界的な金融危機が実体経済にまで波及した影響から景気後退が一段と顕著になった。とりわけ昨年9月の米国大手証券のリーマン・ブラザーズが破綻した以降は、米国をはじめとする各国の急速な景気の悪化をきたした。

このため日銀による超低金利政策への復帰や政府による各種の景気刺激策が矢継ぎ早に打ち出されている。

このような環境下であるが、当財団の収入源である社債は信用力の高い会社のものを保有していることから、問題はなくまた償還を迎えた社債もなかったことから、利

息収入は当初予算であり、その他若干の収入を加えて収入総額は1億円強となった。

一方事業は計画通りに遂行するとともに、予算執行に当たってはその効果、公益性等に配慮しながら一層効率的な使用に心がけた結果、事業活動支出は若干予算を上回ることになったが、総じて健全な決算となった。

なお、平成20年度の新規事業として、台湾の環球技術学院から1週間15名の学生を相互交流の第1回目として受入、日本の大学祭や企業参観の研修等を行った。

(1面に関連記事)

平成20年度財団事業報告より抜粋

1. 国際交流事業

①海外派遣・受入

イ. ドイツベルリン市カニジウス校との交換留学

今年には派遣の年で、高校生・大学生8名を3週間ホームステイで派遣した。

ロ. 英国ブリッドポート・ユースセンターとの交換留学

今年には受入の年で、青少年5名及び引率者1名計6名を3週間ホームステイで受入れた。

ハ. 英国ミドルズブロウ市教育局との交換留学

今年には受入の年で、青少年6名及び引率者1名計7名を3週間ホームステイで受入れた。

ニ. 英国語学研修派遣

高校生・大学生26名を3週間、ボーンマスの語学学校に派遣した。

ホ. 台湾への派遣・受入

台湾環球技術学院との交流で大学生を10名、8日間派遣した。

10月台湾学生15名を8日間受入れた。

2. 社会教育事業

①公開文化講座の開催

年間8回実施した。

②寺子屋小山台の開催

プレ講座含め8回開催。

3. 学校教育事業

①都立小山台高校への助成

イ. 進路、学力向上関係

ロ. 運動会・合唱コンクール等の行事関係

ハ. 都立小山台高校プラスバンドの都民公開

コンサートの費用助成

ニ. 学校 PR 関係

ホ. 夏季合宿、班活動関係

ヘ. 講習会、コーチ指導関係

②中学校向け事業への助成

学校教育事業・育英事業等は例年通り

③育英事業・その他

一般奨学金

都立高校34名に年間15万円、合計510万円を給付した。

平成21年度事業計画

1. 国際交流事業

①海外派遣・受入

イ. ドイツベルリン市カニジウス校との交換留学

今年には受入の年で、高校生・大学生8名を3週間ホームステイで受入れる。

ロ. 英国ブリッドポート・ユースセンターとの交換留学

今年には派遣の年で、高校生・大学生計7名を3週間ホームステイで派遣する。

ハ. 英国ミドルズブロウカレッジとの交換留学

今年には派遣の年で、高校生・大学生計6名を3週間ホームステイで派遣する。

ニ. 英国語学研修派遣

高校生・大学生26名を3週間、ボーンマスの語学学校に派遣する。

ホ. 台湾交流・派遣

台湾環球技術学院との交流で大学生を10名、8日間派遣する。又、先方からも昨年同様の期間で来日する予定。

②外郭組織援助

事業に協力する組織の育成を図り、事業の中核

平成21年度は景気回復が遅れ金利上昇も見込めないで収入は前年と同程度と考える。一方事業費予算は全事業を見直した上で重点配分を心掛けた。実施を計画している事業の概要は下記の通りである。

として当財団に寄与する人材を育成することを目的として、下記の組織に援助する。

イ. 海外派遣経験者の会 (BRANCH の会)

ロ. 受入家庭経験者の会 (あけぼの会)

③海外研修助成

他団体のアジア地域およびアメリカ合衆国への研修派遣に参加を希望する学生に対して、その費用の一部を助成する。

④国際交流他団体助成

交換交流提携校への寄付

2. 社会教育事業

①公開文化講座の開催

7回実施する。そのテーマは1頁に掲載。

②寺子屋小山台の開催

8回実施する。そのテーマは上段に掲載。

3. 学校教育事業

①都立小山台高校への助成

イ. 進路、学力向上関係

ロ. 学校 PR 関係

ハ. 運動会・合唱コンクール等の行事関係

ニ. 夏季合宿、部班活動関係

ホ. 講習会、コーチ指導関係

ヘ. その他

②中学校向け事業への助成

③育英事業

イ. 一般奨学金

都立高校35名に年間15万円、合計525万円を給付する。

ロ. 緊急奨学金

緊急に援助が必要になった生徒に対して、5名の枠内でイ. と同様に給付する。

4. その他

①広報

イ. 会報を年1回9月に発行する。

ロ. 業務・財務に関する情報をホームページで公開している。

②会議室・ホール等施設を開放している。

③その他

語学研修のリーダーを務めて

藤田 万里



まず、英国語学研修に参加した26名が、無事に帰国したことを報告させていただきます。

今年は例年になくキングズスクールの生徒数が多かったせいか、午前と午後の2つのグループに分かれて授業を受けました。このシステムの変化を事前に知らされていなかったため、それぞれ苦労したことや悩みがあったようですが、日を追うごとに英語にも慣れていき、友だちとジェスチャーを交えながら楽しそうに話している団員の姿も見られました。ただ、やはり、リスニングやスピーキングに慣れていないため、授業中に意見を述べたり、ディスカッションをしたりというときに、他のクラスメイトとの差を感じた人も多かったようです。

また、週末の予定は大学生を中心に計画を立てて、蒸気機関車に乗ってお城の跡を見に行ったり、バスで隣町に行ってショッピングをしたり、ビーチで遊んだり、充実した時間を過ごせたと思います。

異文化の中で外国人と接しながら3週間生活していくなかで、楽しいことばかりではなく辛いこと、後悔したこともきっとあるでしょう。団員一人一人、感じたことは違うかもしれませんが、この貴重な経験を次のステップへと大いに生かしてくれるよう、心から願っています。

海外派遣プログラムに携わり、最後まで支えてくださった全ての方に感謝しています。どうもありがとうございました。

リーダーとして感じたこと

荒牧 芽生



今回リーダーとしてブリッドポート交換派遣に再び参加することになって、嬉しさとともに、それを上回るくらいのプレッシャーがあった。初めて団員と顔を合わせた4月から、リーダーとしてこうあらねば、常にこれを念頭に置いて行動していた。現地に着いて

からもリーダーとして団員に何かしなくては、英語をもっと話させなければと日々考えていたが、1週間くらいたった時に、ふと団員達を見るとパートナー達と冗談を言い合い、笑いあっている姿があった。決して流暢な英語とは言えないまでも、身振りや単語でそれをカバーし、コミュニケーションをとっていた。それを見て私は、この交換派遣はきっかけであって、決してこの派遣内に何かをなして終わりではないのだということに気がついた。コミュニケーションをとる術なら団員達自身で見つけていくだろうし、それを通してきっと感じるであろう後悔を、将来役立たせることが大事なのだと感じた。しかし後悔ばかりが残ってしまったら、という不安もあったが、派遣中何人かに「ブリッドポートに来てよかった」「派遣に参加してよかった」と言われ、心から安堵したと同時に、言葉では表せないくらい、嬉しかったことを覚えている。

この派遣での体験が、4年前の私がそうだったように、きっと団員達の生活、進路、人生に何かしらの影響を与えようと思う。

最後に、財団の方々、保護者の方々、この派遣を支えてくださった方々に心から感謝したいと思います。ありがとうございました。

確かな『知』

樋口 舞



2年前、語学研修組に参加していました。英国派遣は2度目ではありましたが、実は団員と同じくミドルズブロウの地は初めてでした。事前研修からミドルズブロウだけ経験談が少なく、きっと団員には不安を与えていたことであろう...というのは私の思い込みで、

むしろ彼女たちは“無知”であることを原動力としていました。彼女たちの積極性をみて、改めてこの派遣の存在の素晴らしさを感じました。そんな熱き思いを向こうで打ち砕かれた団員もいたことと思います。皆それぞれで苦戦しているようでした。悩んでいる内容が一人ひとり違えば、解決の仕方もバラバラです。それでも着実に私たちは前に進んでいました。後悔も失敗もすべてが経験となって身に付いたことは確かです。現地の空気を肌で感じ、生活や文化や人柄を自身で知ることができました。理解しろということは無理であっても、そこにある事実を知ることが大切なのだと思います。日本から出て他国を訪れ、自らで確認する、そして想像が現実と変わったとき、はじめて『知る』と言えるのではないのでしょうか。

今回、私たちはミドルズブロウでの生活を体感し、日本と現地の両者の長所短所を発見しました。これは貴重な発見であり、世界観を広げる一歩になりました。

来年は私たちの番です。彼らに等身大の日本を教えてあげたいと思います。

平成21年度 新任役員・評議員

改定寄付行為に基づく新役員等を選出・大澤理事長を再選

去る6月14日、平成21年度第1回理事会、評議員会が開催され、20年度事業報告、決算報告、監査報告その他について可決承認された後、昨年改定された寄附行為に基づく理事、監事、評議員、運営委員会委員、国際交流事業部、社会教育事業部、学校教育事業部の部会長、部会員等、の選出が行われた。

今回は来る新公益法人認定申請に備えて理事は

10名、(これまでは15名) 評議員は11名(これまでは30名)と大幅に改定縮小され、指導を受けてきた都教委の意向に沿うこととなった。(監事はこれまでどおり3名) また、任期は新法に備えて2年となった。従って今回選出された役員、委員の任期は23年6月の理事会、評議員会までとなる。理事、監事、評議員等の名簿は下記のとおり

理事長(再)	大澤佳雄
副理事長(再)	矢作洋
理事(新)	増田次郎
〃(再)	大川洋二
〃(再)	杉原民夫
〃(新)	近藤和子
〃(再)	保科正一
〃(新)	金成憲道
〃(新)	有田聡
常勤理事(再)	杉山元
監事(再)	飯塚洸子
〃(再)	中村順洋
〃(新)	細本孝司

国際交流部	
部会長(新)	佐々木千晶
部会員(再)	和久田博子
〃(新)	増田恵
〃(新)	多田良子
〃(再)	荒井隼人
〃(新)	飯島裕実子
〃(新)	橋爪淳吾
〃(新)	佐藤正樹
〃(再)	土井信行
〃(再)	中村くるみ
〃(新)	井上幸代
〃(再)	大谷あけみ
〃(再)	沖田一郎
〃(新)	横山彩

人事諮問委員会	
委員長(再)	大堀太千男
委員(再)	渡辺功
委員(新)	佐久間和枝

公益法人準備委員会	
委員長(新)	杉山元
委員(再)	増田次郎
委員(再)	保科正一

財務財産委員会	
委員長(再)	金成憲道
委員(再)	杉山元
委員(再)	増田次郎

システム委員会	
委員長(新)	松丸心一
委員(再)	杉山元

評議員(新)	大橋学
〃(新)	片寄真理子
〃(再)	武田雄一
〃(新)	小牟礼和人
〃(新)	野田悌二
〃(再)	平松享
〃(再)	工藤長男
〃(再)	上野由美子
〃(新)	柄谷桂子
〃(新)	糸瀬敬一
〃(新)	峯岸誠

学校教育部	
部会長(新)	有田聡
部会員(新)	松丸心一
〃(新)	夏目秀雄
〃(再)	片山エイ子
〃(新)	荒川洋
〃(新)	山口佳子
〃(新)	蔭山小夜子
〃(新)	柏尾裕二
〃(再)	松木丈浩
〃(再)	真柴昌彦

運営委員(再)	大澤佳雄
〃(再)	矢作洋
〃(再)	大川洋二
〃(再)	杉原民夫
〃(新)	佐々木千晶
〃(新)	有田聡
〃(新)	平出浩一
〃(新)	佐藤正樹
〃(再)	保科正一
〃(再)	杉山元

社会教育部	
部会長(再)	杉原民夫
部会員(再)	河辺清司
〃(再)	森部和彦
〃(再)	近藤和子
〃(再)	保科正一
〃(新)	近藤久美子
〃(新)	伊藤正人
〃(新)	友成栄子
〃(新)	畑涼子
〃(新)	平出浩一
〃(新)	盛和美
〃(新)	日馬美樹

英国派遣同行を終えて

事務局次長 佐藤 真之

事務局として2年間国際交流事業の一端に携わり、財団小山台の国際交流事業の素晴らしさは派遣生から聞いてはいたが、はからずも21年度の英国派遣生に同行して3週間現地で確認できたことは貴重な体験となった。

交換先では一部のプログラムに参加し、またボーンマスでは授業風景を視察して来た。各地での状況はリーダーの報告に委ねるとして、感想を述べたい。

今回は新型インフルエンザが蔓延した場合の対応をすることを主目的に派遣生に同行したが、予定通りのプログラムを終了し全員元気に帰国できたことにホッとしている。全員が多かれ少なかれ文化の違いやコミュニケーションに当初は苦労したが、この派遣を通して、英語力の向上は勿論のこと積極性や協調性といった面もすごく養われたと思う。また、英国の素晴らしさ、逆に海外から見た日本の素晴らしさを感じてくれたことと思うが、加えて語学研修生はキングズに学びに来ているいろいろな国の人達と交流することにより、言葉の違いや肌の色とかに関係なく、コミュニケーションをとることによって人間は仲良くなれることも感じてもらえたと思う。

21年度の交換留学派遣には小山台高校卒業生の子弟等が4名含まれていたが、在校生・卒業生達と打ち解けて交流している姿は微笑ましく感じた。

今回の体験を通して、本当に多くの人達の力を得て国際交流事業が成り立っていることを改めて感じ、事業の更なる発展に努力したいと思っている。

編集後記

今年の海外派遣は新型インフルエンザに振り回され続けた。ゴールデンウィークころから騒がしくなった感染者の広がり、財団にとっては晴天の霹靂で一時は中止もやむをえないと思われた時期もあった。今日受入れ、派遣の全スケジュールが無事終了したことに関係者一同と喜びを分かち合いたい。

新公益法人移行については、現在情報収集中である。全国で2万5千ともいわれている現行の法人のうち申請した法人はまだまだわずか230程度(本年8月末現在)皆成り行きを息を殺して見つめているという状態である。当財団としては数年のうちに、これまでの事業の継続のためにも公益法人を目指して申請ができるようしかるべく準備をしなければならないと考えている。

常勤理事 杉山 元



会館の南側、旧目蒲線の線路跡に緑道公園ができました。